

RAW データテキスト変換ソフトウェア取り扱い説明書 Version1.1

平成 19 年 11 月 22 日
株式会社 アド・サイエンス

目 次

1. 目的	3
2. 構成	3
3. インストールとアンインストール	3
4. 操作手順	6
5. CSV形式	8

1. 目的

バイナリファイルをハードディスクから読み込み、エクセルで読める CSV 形式にてハードディスクに保存します。ただし、エクセルにはエクセル形式、CSV 形式にかかわらず縦横のデータ数の制限があり、これを越えて読み込むことはできません。

2. 構成

Windows2000、WindowsXP 対応の日本語 Windows アプリケーションとして開発します。開発言語は VisualC++6.0 (SP5) 日本語版 (コンパイラ、ソースファイル等は納品物ではありません)

MFC のスタティックライブラリを使用しているので実行ファイル単体で動作します。

MFC の共有ライブラリやその他 DLL は必要ありません。

納品物

CD-R	1 枚	: インストーラーファイル (Windows2000,WindowsXP 対応) インストールすると実行ファイルがハードディスクにコピーされます。
取り扱い説明書	1 部	: 本書

3. インストールとアンインストール

インストール

①CD-R の Setup フォルダにある Setup.exe を実行します。

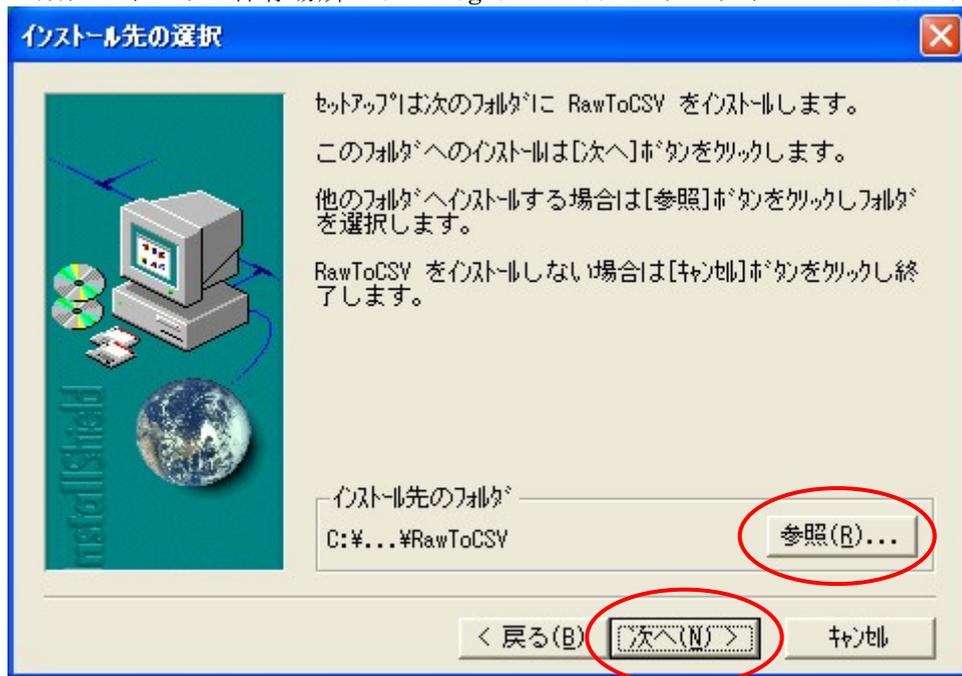
②通常はデフォルトのまま画面を進めてください。

(なおフォルダ等は変更してもかまいません)

[手順 1]

インストール先のフォルダを指定します。インストール先を指定する場合は、[参照]ボタンを押して、フォルダを指定します。デフォルトの場合は、[次へ]のボタンを押します。

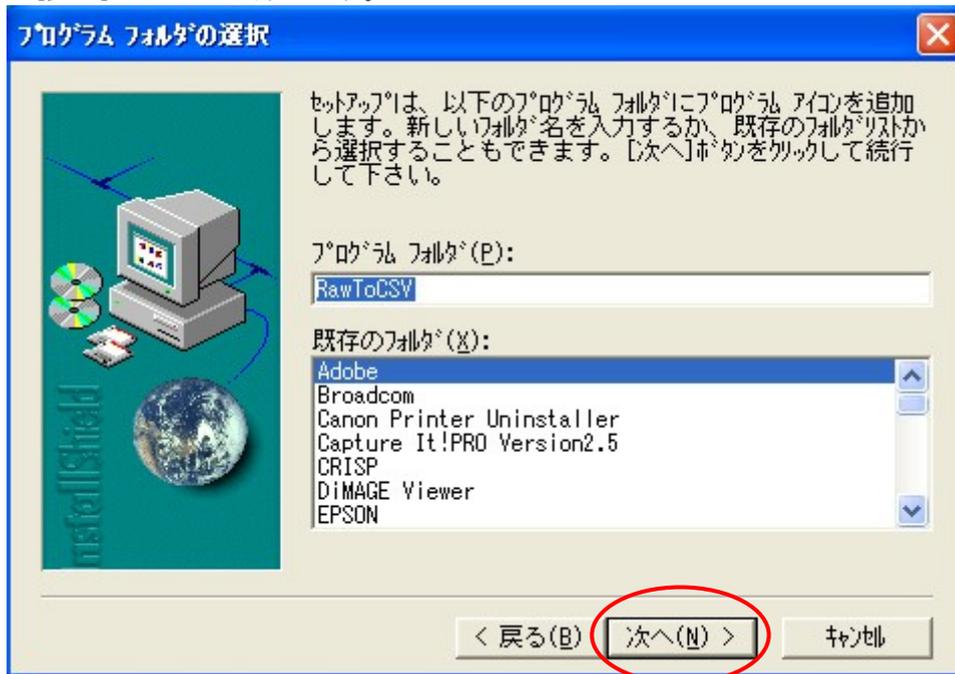
※デフォルトの保存場所 : C:\Program Files\アド・サイエンス\RawToCSV





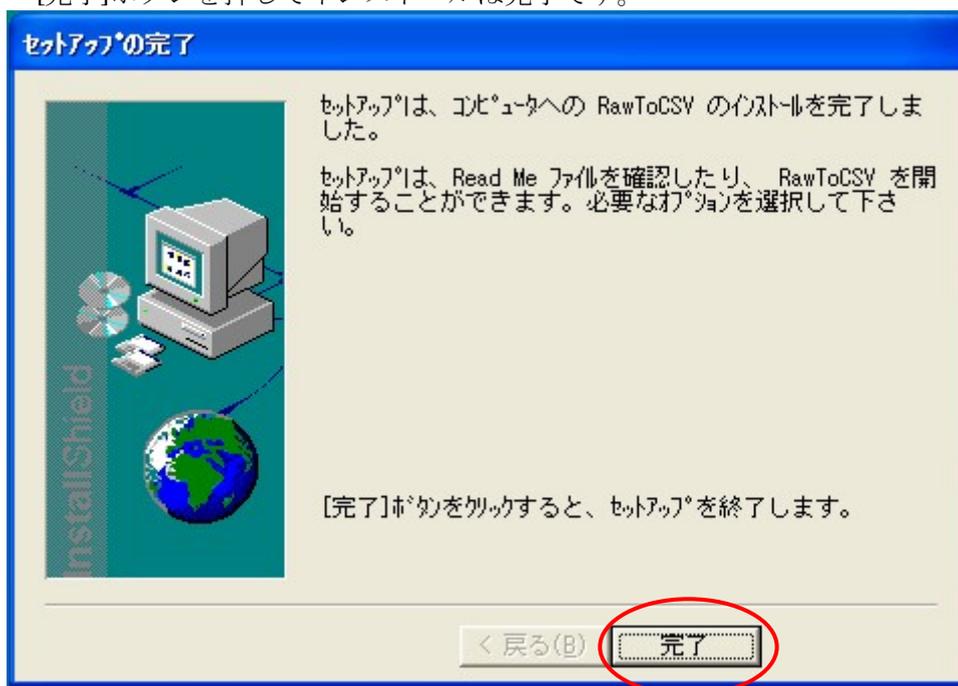
[手順 2]

[次へ]のボタンを押します。



[手順 3]

[完了]ボタンを押してインストールは完了です。



- ③インストールが終了すると、インストール先のフォルダに本ソフトのアイコンが表示されます。

アンインストール

- ①コントロールパネル「アプリケーションの追加と削除」にて”RawToCSV”を選択し「変更と削除」ボタンをクリックします。
- ②すべてのコンポーネントを削除しますかではOKしてください。
- ③インストールしたフォルダ（デフォルトでは C:\Program Files\アド・サイエンス\RawToCSV）に INI ファイルが残ってしまいますが問題ありません。完璧に削除するにはインストールフォルダをエクスプローラー等で削除してください。

4. 操作手順

- ① スタートメニューからソフトを起動します。



図 1.メイン画面

- ② RAW ファイルの「幅」と「高さ」を指定します。(記憶されるので一度のみ指定)
また、CSV ファイルへ書き出すデータのバイト順序を「モトローラ形式」か「インテル形式」のどちらかを選択します。
指定した RAW ファイルの「幅」と「高さ」が違う場合、変換はできません。
- ③ 「folder」ボタンにて CSV ファイル保存フォルダを指定します。
(記憶されるので一度のみ指定)

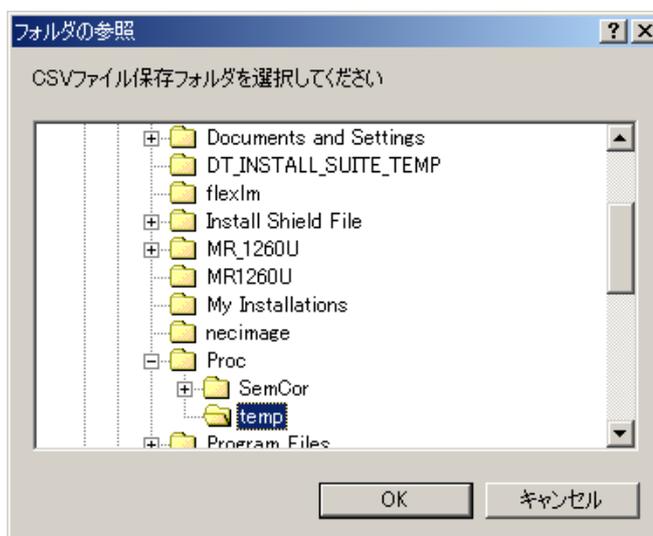


図 2.フォルダ選択画面

- ④ CSV ファイルの区切り文字を「スペース」か「カンマ」をクリックします。
(記憶されるので一度のみ指定)
- ⑤ 「open」ボタンにて open と変換をおこないます。「open」ボタンを押すと最初に「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。ダイアログにて変換を行うファイルを選択します。ファイルを選択したら「開く」をクリックします。

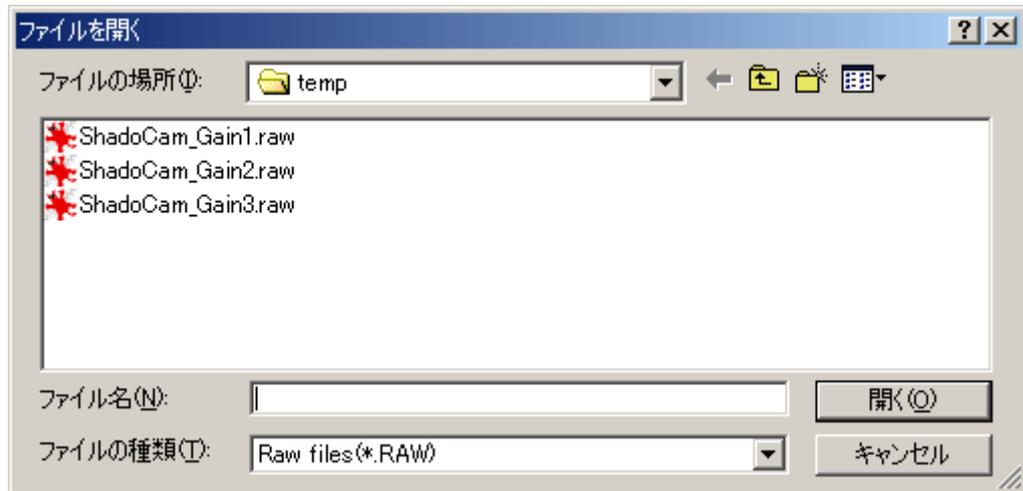


図 3.ファイル選択画面

- ⑥ RAW ファイルを読み込み、拡張子が csv の CSV ファイルを CSV 保存フォルダに保存します。
- ⑦ メイン画面の右上の×ボタンにてソフトを終了します。

パラメータ :

INI ファイルにて保存しているので、次回起動時も同じ値が使用されます。

5. CSV 形式

例 幅のピクセル数 = w 、高さのライン数 = h の場合

```
0,1,2,3,140,0,255, . . . . . ,23  1 ライン目のテキスト値 (w個)
3,10,43,24,230,240, . . . . . ,12  2 ライン目のテキスト値
.
.
10,31,223,40,55,75, . . . . . ,0    h ライン目のテキスト値
```

スペース区切りまたはカンマ区切りにてテキストの並びを作ります。例ではカンマ区切り。